

平成28年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 行動科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	問1 社会的ネットワークに関連する理論及び実験の知見に関する基本的な理解を確認するとともに、論の構成力、仮説検証の考え方の基礎などを評価する。 問2 社会心理学及びその近接領域において研究を遂行する上で必要な統計的手法に関する基礎知識を評価する。 問3 社会心理学及びその近接領域において研究を遂行する上で必要な専門用語に関する基礎知識を評価する。

平成28年度  
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題 (後期)  
(専門試験) 行動科学 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 3枚を配付する。  
解答用紙は1問につき、1枚を使用すること。

問1 多くの人々からなる世界が比較的少人数を介してつながる現象をスモール・ワールド現象と呼ぶ。社会心理学者ミルグラムは、1967年に先駆的な実験を行い、アメリカ国内では平均して5.83人を介することにより全ての人とつながることができることを示した。その後、様々な追試も行われたが、おおむね6人前後で全ての人とつながることができることが示されてきた。これを六次の隔たり(6人を介すればほとんどの人とつながる)と呼ぶ。これに対し、ソーシャルネットワークサービス Facebook における関係性を扱った近年の研究では、4.74人という結果が得られている(Backstrom, et al., 2011)。社会心理学またはその隣接領域の理論に基づき、何人を介するとほとんどの人とつながることができるのかが、現実社会と Web 上の社会でなぜ異なるかについて、あなたの仮説を述べ、それを検証する方法を考えなさい。

(出典: Backstrom, L., Boldi, P., Rosa, M., Ugander, J., Vigna, S. (2011). Four Degrees of Separation. *Cornell University Library. arXiv.org. Computer Science, Social and Information Networks. <http://arxiv.org/abs/1111.4570>*)

問2 他者からの監視が人間の協力行動に与える影響を検討するため、実験の間、自分の行動が実験者によって観察される条件 ( $X_{monitor}$ )、実験の間自分の顔の前に目の絵が貼られた条件 ( $X_{eyes}$ )、いずれの要因も存在しない統制条件 ( $X_{control}$ ) という3つの条件を設け、それぞれに参加者を30名ずつランダムに配置した。参加者は各条件において匿名他者から募金への寄付を求められ、その提供金額を協力行動の指標とした。

- 1) 監視されることが協力行動に与える効果を検討するため、条件 ( $X_{monitor}$ ,  $X_{eyes}$ ,  $X_{control}$ ) を参加者間要因とし、協力行動（提供金額）を従属変数とした一元配置分散分析を実施したい。この分析を実施する前に、分析結果の信頼性を担保するための統計学的前提が満たされているか確認をしたい。どのような前提を、どのような手法を用いて検討すれば良いのか述べなさい。
- 2) 別の実験が行われた。条件は同じだが、この新しい実験では同一の参加者が3つの条件全てに参加し、募金への寄付をそれぞれ1回ずつ（計3回）求められた。参加者の総数は30人である。なお条件の順序は参加者毎にカウンターバランスが取られているものとする。ここで、監視されることの効果を検討するために、1)と同様に条件を参加者間要因とみなした一元配置分散分析を行うとどのような問題が生じるのか、説明しなさい。

問3 次の語句すべてを簡潔に説明しなさい。

- 1) 集団思考 (group think)
- 2) 社会的比較理論 (theory of social comparison)
- 3) 基本的な帰属のエラー (fundamental attribution error)
- 4) 因子分析 (factor analysis)
- 5) 行動主義 (behaviorism)